ソレイユさがみ 新着 図書・DVD NEWS

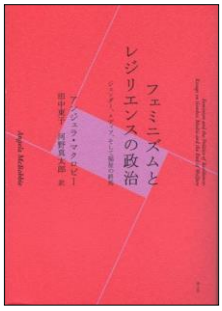
ソレイユ ブックレビュー

第96号 2023年3月15日

〔発行・お問合わせ先〕
相模原市立男女共同参画推進センター
（ソレイユさがみ） 情報委員会
《指定管理者 特定非営利活動法人
男女共同参画さがみはら》
〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1
TEL 042-775-1775 FAX 042-775-1776
http://www.soleilsagami.jp/

編集委員のおすすめ新着図書

『フェミニズムとレジリエンスの政治』 ｱﾝｼﾞｪﾗ・ﾏｸﾛﾋﾞｰ/著
田中 東子/河野 真太郎 訳 青土社（2022 年）



本書では、映画、雑誌、テレビ、SNS や各種メディアなど至るところから刺激的な呼びかけに駆り立てられ、抑えつけられる現代女性たちの生き様、そして苛酷な「自己責任」を問われる女性たちに負わされる多様な抑圧をさまざまな文化事象からの分析を通じて鋭く抉り出された論考が要説されています。

なお、レジリエンスとは、臨床心理学においては遥かに長い歴史を持った観念であり、「立ち直り」メカニズムとして出現し、ポピュラー文化の領域に広くその表出を見ることができます。日本では、女性の置かれたフェミニズムの状況は英語圏とは大きく異なるのでそれ相応の分析が求められる、と訳者は述べています。 (小黒)

『終活！送る人送られる人もホッと満足できる本』
後閑 愛実/著 明日香出版社（2022 年）

著者は看護師として終末期の患者さんや家族に向き合い、1,000 人以上の看取りに接し、そこから学んだことから「最高の終活」について書いています。

人生の最期の死との向き合い方は人それぞれ、同じ家族によっても違います。見送った側の捉え方、気持ちの整理をどうつけるかが重要ということです。多くの実例により身近な問題として受けとれます。本人と家族が事前にどんな準備が必要なのか知っておくことが大事で、いざというときに困らないように、家族で話すことなど、失敗しないための最期への対し方、よい見取りをするため、もしもの時にどうしてほしいか家族に伝え、話題にしてみてはいかがでしょう。 (湯田)

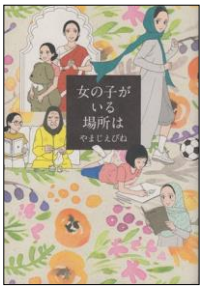
今号のおすすめ テーマ《家族や自分を守る 防災》

『スマホで防災 家族も自分も守る！』
宮下 由多加/著
ジャムハウス（2021 年）

『もしものときにそなえよう！
命を守る防災②
家族の防災』
佐伯 潤/著
汐文社（2022 年）

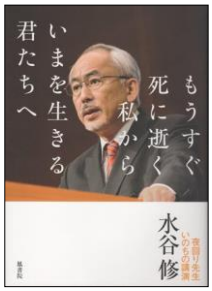
その他の新着図書

『ジェンダーのとびらを開こう』
村田　晶子/森脇　健介著
大和書房（2022 年）



『女の子がいる場所は』
やまじ　えびね/著
KADOKAWA
（2022 年）

『あちこちガタがきてるけど心は元気！80 代で見つけた生きる幸せ』
G3sewing/著
KADOKAWA（2022 年）

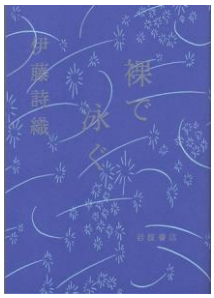


『もうすぐ死に逝く私から
いまを生きる君たちへ』
水谷　修/著
鳳書院（2022 年）

『わたしの心と
体を守る本』
遠見　才希子/著
アベ　ナオミ/漫画
KADOKAWA
（2022 年）

『なりたい自分との
出会い方』
岡本　啓史/著
岩波書店
（2022 年）

『人間関係のモヤモヤは
３日で片付く』
田房　永子/著
竹書房（2022 年）



『裸で泳ぐ』
伊藤　詩織/著
岩波書店
（2022 年）

【絵本】
『わたしがいじわる
オオカミになった日』
ｱﾒﾘ･ｼﾞｬｳﾞｫｰ/ぶん
ｱﾆｯｸ･ﾏﾝｿﾝ/え
パイインターナショナル
（2022 年）

『一心同体だった』
山内　マリコ/著
光文社（2022 年）

ソレイユさがみ　情報コーナーご利用案内

相模原市の貸出券でご利用できます。 皆さん、どうぞお立ち寄りください!!

・利用時間　9：00～21：50　（ただし、17：00 以降は、貸出、返却のみ）
・休館日　（令和５年度）《偶数月の第４月曜日》4/24、6/26、8/28、10/23、12/25、2/26
《年末年始》12/29～1/3
・貸出冊数　図書：１０冊まで　２週間以内　DVD(ビデオ)：３本　２週間以内
・全国の男女共同参画情報誌が閲覧できます。
・DVD(ビデオ)は館内で視聴ができます。
DVD(ビデオ)上映コーナーのリスト一覧から　お選びください。
・大型絵本も 14 冊所蔵しています。(貸出は団体のみ)　館内では個人でもご覧いただけます。

ソレイユさがみ HP